

第13回 次世代育成環境ランキング (2017年度)

(主要67都市、東京23区)

1. 本調査について

- 1) 内容: 各種統計データなどを当NPO独自の基準で評価したもの。
- 2) 目的: 次世代育成環境(出産、乳幼児保育、児童福祉、児童養護、児童保育、母子福祉、小児医療など)は自治体間に相当の格差が見られる。「市民による健全な監視役」として、各都市の環境評価を行うことで、自治体の動機付けと一般市民の意識向上に寄与する「頑張っている自治体の私設応援団」となることを目指すもの。
- 3) 調査対象: 東京23区、地方自治法の定める政令指定都市と中核市の合計90都市
- 4) 今後の予定: 一回(春頃)継続して作成・公表する。

2. 調査結果

1) 「次世代育成環境ランキング」2017年度

① 20政令市の上位自治体

	総合順位	出産環境	乳幼児保育	児童福祉	児童養護	児童保育	母子父子福祉	小児医療
北九州市	1位	1位	17位	6位	4位	1位	5位	1位
熊本市	2位	6位	1位	2位	8位	3位	2位	5位
岡山市	3位	4位	15位	20位	6位	2位	18位	3位
名古屋市	4位	14位	10位	5位	5位	7位	9位	8位
大阪市	5位	5位	5位	15位	1位	14位	3位	14位
相模原市	6位	18位	8位	4位	13位	13位	15位	2位

② 47中核市の上位自治体

	総合順位	出産環境	乳幼児保育	児童福祉	児童養護	児童保育	母子父子福祉	小児医療
函館市	1位	9位	23位	1位	1位	2位	4位	4位
盛岡市	2位	17位	2位	11位	2位	3位	31位	5位
旭川市	3位	7位	29位	23位	5位	1位	11位	3位
和歌山市	4位	10位	38位	6位	3位	6位	10位	1位
秋田市	5位	5位	1位	12位	13位	12位	14位	21位
高松市	6位	1位	14位	2位	25位	13位	33位	14位
大津市	7位	26位	11位	4位	10位	25位	2位	2位
青森市	8位	8位	4位	14位	4位	9位	28位	24位
久留米市	9位	2位	20位	3位	19位	10位	29位	29位

長崎市	10位	13位	39位	23位	12位	7位	1位	11位
富山市	11位	11位	8位	23位	28位	8位	39位	19位
下関市	12位	3位	9位	23位	31位	15位	36位	31位
大分市	13位	4位	37位	23位	8位	24位	13位	17位
尼崎市	14位	30位	19位	10位	27位	14位	23位	9位
いわき市	15位	16位	27位	23位	34位	5位	38位	16位

③ 東京 23 区の上位自治体

	総合 順位	出産 環境	保育 環境	児童 福祉	幼児 保育	児童 保育	小児 医療
豊島区	1位	6位	1位	3位	11位	1位	6位
千代田区	2位	1位	6位	23位	1位	7位	5位
渋谷区	3位	3位	19位	16位	5位	6位	1位
杉並区	4位	18位	8位	10位	9位	17位	2位
北区	5位	17位	3位	19位	4位	8位	6位
荒川区	6位	9位	12位	15位	14位	2位	7位
文京区	7位	2位	9位	6位	2位	4位	23位
板橋区	8位	8位	4位	12位	21位	13位	11位

2) 東京 23 区

- ① 出産環境： 病院・診療所・歯科診療所は千代田、新宿、渋谷が、医師・助産師・看護師・保健師は千代田、新宿、文京が充実。
- ② 保育環境： 保育所は葛飾、荒川、豊島が充実。待機児童は豊島、千代田、杉並が少ない。
- ③ 児童福祉： 児童福祉施設は墨田、豊島、葛飾が充実。
- ④ 幼児保育： 幼稚園は文京、千代田、北が充実。
- ⑤ 児童保育： 学童クラブ施設は品川、豊島、北が、学童クラブ運営は文京、台東、墨田が充実。
- ⑥ 小児医療： 平日夜間診療は渋谷、千代田、杉並が、土曜診療は渋谷、台東、中央が、日曜日診療は千代田、中央、渋谷が、年末年始診療は台東、豊島、杉並が充実。予防接種実施率は千代田、中野、江東が高い。

3) 主要 65 市

- ① 出産環境： 病院・診療所は北九州、下関、高松が充実。
- ② 乳幼児保育： 保育施設は熊本、久留米、秋田が、保育時間は千葉、柏、秋田が、0-2 歳児保育は京都、熊本、久留米、盛岡が、常勤保育士は京都、秋田、盛岡が充実。待機児童数は相模原、新潟、名古屋、京都、北九州、熊本、函館、青森、盛岡、秋田、前橋、高崎、柏、富山、金沢、長野、岐阜、豊橋、豊田、岡崎、大津、高槻、枚方、福山、下関、高松、宮崎が少ない。
- ③ 児童福祉： 京都、函館、高松が充実。
- ④ 児童養護： 大阪、函館、盛岡が充実。

- ⑤ 児童保育：北九州、旭川、函館が充実。
 - ⑥ 母子父子福祉：札幌、長崎、大津が充実。
 - ⑦ 小児医療：平日夜間診療は北九州、和歌山、盛岡が、土曜診療は北九州、枚方、大津が、日祭日診療は北九州、函館、いわき、大津が、年末年始診療は北九州、和歌山、横須賀が充実。
- 4) 特別表彰：本調査の結果から、以下の自治体に「次世代育成優秀環境賞」を贈ることとした。
相模原市、秋田市、板橋区
3. 当法人について
- 1) 名称：特定非営利活動法人(NPO)エガリテ大手前
 - 2) 設立：2004年4月(NPO認証:2005年10月)
 - 3) 目的：少子高齢化が急速に進む中で、男女共同参画社会の形成は、我が国の今後の発展のための最重要課題である。しかしながら、各種の法規制や制度導入は進められているものの、女性を取り巻く環境は十分なものとはいえず、いまだに男女格差・差別や前近代的な出産・育児・就労が続いているのが実態である。また、育児休暇や介護休暇の取得率、保育所の待機児数、子育てセンターの利用率などを見ても、制度やシステムの改善に加えて、その普及定着化と、女性を取り巻く社会の意識変化が求められていると言えるだろう。ところが、我が国の官庁や企業での不祥事の内部告発が後を絶たないことを見ても、組織による自浄・改善機能だけに期待することは難しく、社会の適正な監視や牽制が求められると言えるだろう。この法人では、次世代育成支援対策推進法により自治体や企業などが作成する「行動指針」「行動計画」の評価などの調査・研究を行ない、公表並びに、広報・出版、講演を行うとともに、あわせて行政や企業などへの提言を行うことで、男女共同参画社会の形成促進に寄与することを目的としている。ついては、この活動に、客観性、中立性、良識性、かつ非営利性が求められるため、特定非営利活動法人(NPO)とするものである。
 - 4) メンバー：主婦やサラリーマンを中心に、弁護士、大学教授、公認会計士、医師、薬剤師、税理士、産褥ヘルパー、消費生活アドバイザー、シンクタンク研究者、社会福祉士、介護福祉士、統計専門家、アナリスト、中小企業診断士、衛生管理士、福祉サービス第三者評価調査者、フードアナリスト、宅地建物取扱主任など幅広い層からの参加を得ている。
 - 5) URL: <http://egaliteo.com/>
 - 6) 問合せ先: <http://egaliteo.com/inquiry> または furukubos@gmail.com
4. 参考資料：調査の概要: <http://egaliteo.com/files/content/criteria2.pdf>

以上